



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 ぴあ

コード番号 4337

URL <http://corporate.pia.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢内 廣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長

(氏名) 長島 靖弘

TEL 03-5774-5278

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	67,186	4.8	812	51.0	825	52.7	774	100.3
26年3月期第2四半期	64,120	21.2	537	—	540	—	386	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 790百万円 (100.4%) 26年3月期第2四半期 394百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	55.04	54.93
26年3月期第2四半期	27.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	30,094	5,764	19.0	405.81
26年3月期	35,204	5,014	14.1	352.83

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 5,709百万円 26年3月期 4,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,000	△7.9	1,100	22.3	1,100	22.3	1,000	23.0	71.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	14,092,913 株	26年3月期	14,092,913 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	22,490 株	26年3月期	22,490 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	14,070,423 株	26年3月期2Q	14,070,428 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税により一時的な個人消費の落ち込みが見られたものの、政府による景気対策により企業収益の改善、民間設備投資の増加、雇用・所得環境の改善等が図られ、景気は全体として緩やかな回復基調で推移し、国内レジャー・エンタテインメント市場におきましても、引き続き底堅く推移しました。

このような状況下、中期事業計画の最終年度に入りました当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、引き続き音楽ジャンルを中心としたインターネットでのチケット販売が好調に推移し、第2四半期連結累計期間としては過去最高の売上高・利益を達成しております。

また、インターネットでのチケット販売サービスの新たな取り組みとして、7月より「チケットぴあ」にてチケットを購入されたお客様が、何かしらの事情で公演に行くことができなくなった場合、そのチケットを希望する別のお客様に対し、定価で再販売（リセール）できる「定価リセールサービス」をスタートしております。

以上の結果、当社グループの第2四半期の業績は、連結売上高671億86百万円(対前年同期比104.8%)、営業利益8億12百万円(対前年同期比2億74百万円増加)、経常利益8億25百万円(対前年同期比2億85百万円増加)、四半期純利益7億74百万円(対前年同期比3億87百万円増加)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント>

「ROCK IN JAPAN FES. 2014」

「嵐のワクワク学校 2014」

「Animelo Summer Live 2014」

「浜崎あゆみ」、「Perfume」

「オーヴォ」

「ディズニー・オン・アイス」

「VAMPS」、「CNBLUE」

「ARASHI BLAST in Hawaii ライブビューイング」

<商品>

「夏ぴあ」「秋ぴあ」（首都圏版/関西版/東海版）

「食本」シリーズ（新宿、上野浅草、横浜、豊橋豊川、川崎蒲田大森、堺、札幌他）

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、300億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して51億10百万円減少いたしました。流動資産は274億95百万円（前連結会計年度末比52億12百万円減）となりました。変動の主なものは、現金及び預金の減少（同40億46百万円）、受取手形及び売掛金の減少（同17億47百万円）であります。また、固定資産は25億98百万円（前連結会計年度末比1億2百万円増）となりました。

負債は、243億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して58億60百万円減少いたしました。流動負債は235億24百万円（前連結会計年度末比56億37百万円減）となりました。変動の主なものは、買掛金の減少（同41億75百万円）であります。固定負債は8億5百万円（前連結会計年度末比2億23百万円減）となりました。変動の主なものは、長期借入金の減少（同1億22百万円）であります。

純資産は、57億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億50百万円増加いたしました。これは、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加（同7億33百万円）によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して40億46百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は122億46百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは22億66百万円の支出（前年同四半期は61億80百万円の支出）となりました。この主要因は、税金等調整前四半期純利益が8億30百万円であったこと、売上債権の減少が17億47百万円及び仕入債務の減少が41億75百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは13億55百万円の支出（前年同四半期は2億48百万円の支出）となりました。この主要因は、定期預金の預入による支出5億円、有価証券の取得による支出5億円及び無形固定資産の取得による支出2億31百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは4億24百万円の支出（前年同四半期は4億77百万円の支出）となりました。この主要因は、長期借入金の返済による支出2億72百万円及び配当金の支払による支出1億39百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、前回公表の予想数値に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付にかかる負債が99百万円減少し、利益剰余金が99百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,292,855	12,246,556
受取手形及び売掛金	14,437,020	12,689,078
有価証券	—	999,874
商品及び製品	110,091	76,205
仕掛品	2,027	1,395
原材料及び貯蔵品	4,966	4,604
その他	1,911,277	1,522,565
貸倒引当金	△50,123	△44,557
流動資産合計	32,708,115	27,495,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	106,885	98,532
工具、器具及び備品(純額)	132,509	140,194
土地	6,240	6,240
その他(純額)	76,561	65,335
有形固定資産合計	322,196	310,302
無形固定資産		
のれん	2,095	1,047
ソフトウェア	978,729	917,371
ソフトウェア仮勘定	158,611	232,856
その他	59,768	59,555
無形固定資産合計	1,199,204	1,210,831
投資その他の資産		
投資有価証券	414,190	505,643
その他	913,159	929,978
貸倒引当金	△352,010	△357,866
投資その他の資産合計	975,340	1,077,755
固定資産合計	2,496,741	2,598,889
資産合計	35,204,856	30,094,612

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,513,872	20,337,974
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	742,636	592,270
未払金	1,013,535	878,065
未払法人税等	89,616	72,830
賞与引当金	206,218	6,700
返品調整引当金	311,000	272,000
その他	2,184,757	1,264,442
流動負債合計	29,161,636	23,524,283
固定負債		
長期借入金	282,000	160,000
退職給付に係る負債	192,982	98,625
役員退職慰労引当金	92,923	—
資産除去債務	61,453	61,831
その他	399,455	485,311
固定負債合計	1,028,815	805,769
負債合計	30,190,452	24,330,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,239,158	4,239,158
資本剰余金	402,670	402,670
利益剰余金	472,974	1,206,628
自己株式	△61,377	△61,377
株主資本合計	5,053,425	5,787,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,101	16,682
為替換算調整勘定	△19,119	△18,212
退職給付に係る調整累計額	△82,842	△75,589
その他の包括利益累計額合計	△88,860	△77,119
新株予約権	3,142	3,142
少数株主持分	46,696	51,457
純資産合計	5,014,404	5,764,559
負債純資産合計	35,204,856	30,094,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	64,120,612	67,186,149
売上原価	58,888,980	61,594,577
売上総利益	5,231,632	5,591,571
返品調整引当金戻入額	303,000	311,000
返品調整引当金繰入額	279,000	272,000
差引売上総利益	5,255,632	5,630,571
販売費及び一般管理費	4,717,697	4,818,092
営業利益	537,934	812,479
営業外収益		
受取利息	267	801
受取配当金	15,342	5,840
持分法による投資利益	12,811	16,475
その他	1,147	2,217
営業外収益合計	29,568	25,334
営業外費用		
支払利息	16,149	7,672
保険解約損	7,765	—
その他	2,841	4,222
営業外費用合計	26,755	11,895
経常利益	540,747	825,918
特別利益		
投資有価証券売却益	—	34,681
特別利益合計	—	34,681
特別損失		
役員退職特別功労金	71,188	—
関係会社株式評価損	19,999	29,999
特別損失合計	91,188	29,999
税金等調整前四半期純利益	449,559	830,600
法人税、住民税及び事業税	64,359	51,676
法人税等調整額	△4,666	△335
法人税等合計	59,693	51,341
少数株主損益調整前四半期純利益	389,865	779,258
少数株主利益	3,138	4,760
四半期純利益	386,727	774,498

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	389,865	779,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,374	3,581
為替換算調整勘定	493	906
退職給付に係る調整額	—	7,252
その他の包括利益合計	4,867	11,740
四半期包括利益	394,733	790,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	391,595	786,239
少数株主に係る四半期包括利益	3,138	4,760

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	449,559	830,600
減価償却費	260,055	240,103
のれん償却額	1,047	1,047
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18,236	289
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51,358	△199,518
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△24,000	△39,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,038	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	12,755
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,625	△92,923
役員退職特別功労金	71,188	—
受取利息及び受取配当金	△15,609	△6,641
支払利息	16,149	7,672
関係会社株式評価損	19,999	29,999
持分法による投資損益 (△は益)	△12,811	△16,475
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△34,681
売上債権の増減額 (△は増加)	2,232,800	1,747,941
たな卸資産の増減額 (△は増加)	209	34,880
前渡金の増減額 (△は増加)	△543,898	487,383
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,416,276	△4,175,897
未払金の増減額 (△は減少)	△65,067	△114,681
前受金の増減額 (△は減少)	512,917	△630,631
その他	△474,269	△264,654
小計	△6,007,459	△2,182,430
利息及び配当金の受取額	15,609	7,391
利息の支払額	△18,533	△7,563
役員退職慰労金の支払額	△94,878	△1,640
法人税等の支払額	△75,647	△82,347
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,180,909	△2,266,589
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△500,000
有価証券の純増減額 (△は増加)	—	△500,000
子会社株式の取得による支出	—	△1,100
有形固定資産の取得による支出	△19,159	△41,875
無形固定資産の取得による支出	△248,824	△231,923
投資有価証券の取得による支出	—	△100,000
投資有価証券の売却による収入	—	34,681
長期前払費用の取得による支出	△3,289	△15,650
保険積立金の解約による収入	31,494	—
その他	△9,115	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△248,893	△1,355,857
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△401,309	△272,366
新株予約権の発行による収入	3,142	—
配当金の支払額	△69,840	△139,962
その他	△9,275	△11,730
財務活動によるキャッシュ・フロー	△477,283	△424,059
現金及び現金同等物に係る換算差額	590	81
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,906,495	△4,046,424
現金及び現金同等物の期首残高	18,983,045	16,292,855
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,076,549	12,246,430

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）
当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年9月30日）
当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。